

分光分析化学的手法による 非破壊センシングデータの活用： リモセンデータと近赤外イメージング

講演者：石川 大太郎（関西学院大学工学部博士研究員）

日時：2013年10月18日(金) 14:00～16:00

場所：筑波大学第2エリア 生物・農林学系F棟106教室

参加費：無料（事前登録不要）

※学類、学年に関係なく、筑波大関係者ならどなたでも聴講可能です。

世話人：源川拓磨（内線7207、E-mail: genkawa.takuma.fm@u.tsukuba.ac.jp）

セミナー開催の趣旨：

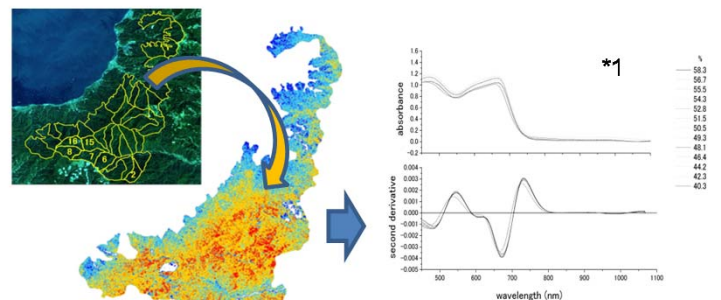
本セミナーは「テニュアトラック普及・定着事業」の一環として、テニュアトラック教員が是非講演を聞きたいと希望する国内外の著名研究者を筑波大学に招致して開催するものである。

今回は関西学院大学工学部尾崎幸洋研究室の石川大太郎博士研究員をお招きし、**分光分析化学的手法による非破壊センシングデータの活用**について講演をして頂く。石川先生は分光分析化学の手法を駆使して地球表面の観測（リモートセンシング）から高分子材料の評価（近赤外イメージング）まで、幅広い分野で研究成果を上げている注目の若手研究者である。

年間30報の論文を生産し、被引用回数が1万回を超える研究室で活躍する博士研究員の研究生活について知ることができる機会なので、研究職を志望する学生には聴講を強くおすすめする。

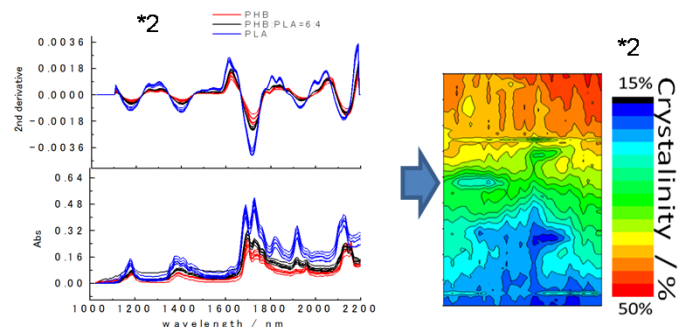
リモセンデータ

例：NDVIIによるバイオマス、水分推定



分光分析化学

近赤外イメージング



例：高分子材料の品質推定

*1 版權：養賢堂(2013), *2 版權：Society for Appl. Spectrosc. (2013)